

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成24年12月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成24年11月分(平成24年11月5日～平成24年12月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	119	0.26	7.76	↑	10	百日咳	19	0.07	0.08	↘
2	RSウイルス感染症	378	1.31	0.93	↘	11	ヘルパンギーナ	9	0.03	0.06	
3	咽頭結膜熱	124	0.43	0.42	↑	12	流行性耳下腺炎	74	0.26	0.68	↘
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	419	1.45	0.99	↗	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
5	感染性胃腸炎	2,716	9.43	5.55	↑	14	流行性角結膜炎	32	0.42	0.91	→
6	水痘	487	1.69	1.40	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	手足口病	7	0.02	0.38		16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
8	伝染性紅斑	11	0.04	0.12	↗	17	マイコプラズマ肺炎	14	0.17	0.29	↓
9	突発性発しん	155	0.54	0.53	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成24年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	40	1.74	1.97	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	116	5.52	5.50	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.68	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	16	0.76	1.76	↗
21	尖圭コンジローマ	19	0.83	0.52	→	25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	—	
22	淋菌感染症	15	0.65	0.85	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.14	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(5件 → 119件)
咽頭結膜熱(47件 → 124件)
感染性胃腸炎(1,170件 → 2,716件)
- 急減疾患 マイコプラズマ肺炎(30件 → 14件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患、月報対象8疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名（管轄保健所）
一類	0	発生なし
二類	46	結核(46)〔西部保健所(7), 西部東保健所(2), 東部保健所(5), 北部保健所(1), 広島市保健所(20), 呉市保健所(5), 福山市保健所(6)〕
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症(5) O157(3)〔東部保健所, 広島市保健所, 福山市保健所〕, O111(1)〔広島市保健所〕, O145(1)〔福山市保健所〕
四類	14	つつが虫病(8)〔西部保健所(5), 広島市保健所(3)〕, 日本紅斑熱(3)〔東部保健所(2), 呉市保健所(1)〕, レジオネラ症(3)〔東部保健所(2), 広島市保健所(1)〕
五類全数	11	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所〕, ウイルス性肝炎 B型(1)〔広島市保健所〕, 急性脳炎(1)〔東部保健所〕, 後天性免疫不全症候群(4)〔東部保健所(1), 広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, 梅毒(1)〔広島市保健所〕, 風しん(2)〔呉市保健所〕

3 一般情報

(1) 感染性胃腸炎について

県では、平成24年第48週（11月26日～12月2日）の定点医療機関（72医療機関）からの感染性胃腸炎患者報告数が、西部東保健所管内（東広島市、竹原市、豊田郡）で警報開始基準（定点当たり20）以上となったことから、**平成24年12月6日、県内に「感染性胃腸炎警報」を発令**しました。

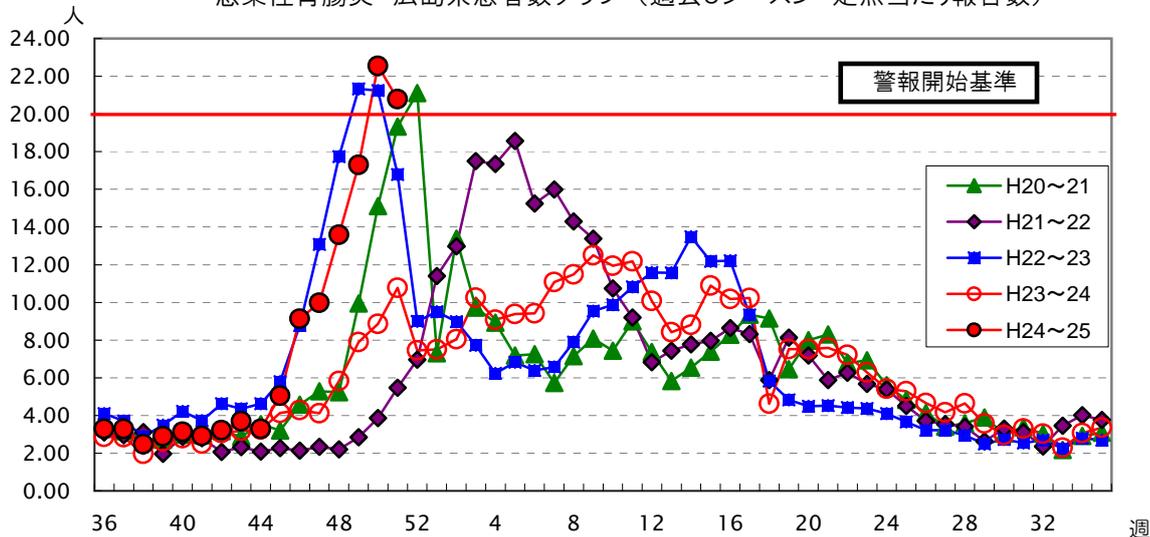
感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、人から人へ感染する場合と二次感染した食品から感染する場合があります。

特にノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染の予防及び流行の拡大の徹底をお願いします。

なお、感染性胃腸炎の最新状況等の詳しい情報については、こちらをご覧ください。

- 広島県「感染性胃腸炎警報の発令中です」
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1292573795854.html>
- 厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

感染性胃腸炎 広島県患者数グラフ（過去5シーズン 定点当たり報告数）



(2) インフルエンザについて

インフルエンザの定点医療機関（115医療機関）からの患者報告数が、平成24年第50週（12月10日～12月16日）に定点当たり1.71となり、流行入りの目安とされている1.0を上回りました。また、続く第51週（12月17日～12月23日）には、北部保健所管内（三次市、庄原市）で注意報開始基準（定点当たり10）以上となったことから、**平成24年12月27日、県内に「インフルエンザ注意報」を発令**しました。

今後、更に流行が拡大する可能性があることから、今後の流行状況について注意していただき、手洗いの励行、咳エチケットの遵守などインフルエンザの予防、拡大防止対策をお願いします。

インフルエンザについての詳しい情報は、次のホームページをご覧ください。

- 広島県「インフルエンザ注意報の発令中です」
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1258079048226.html>